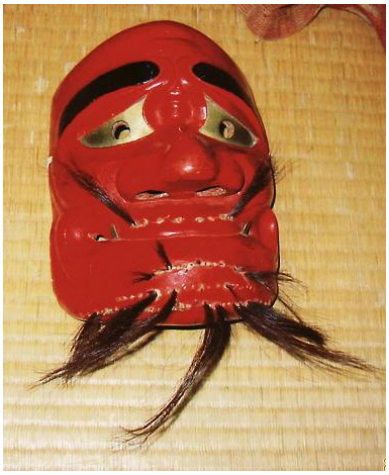
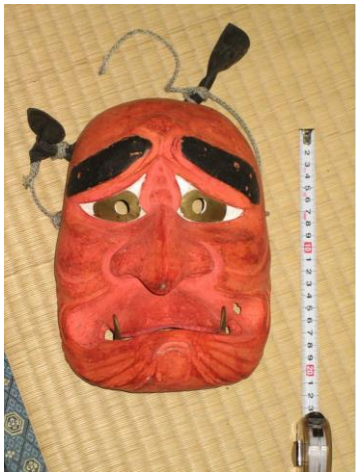
山宮系神舞の仮面及び衣装

【所　在　地】志布志市志布志町安楽１５２０　安楽山宮神社
志布志市有明町伊崎田６４２６　白鳥神社
志布志市志布志町田之浦５５９　田之浦山宮神社
【種　　別】県指定有形民俗文化財
【指定年月日】平成２１年４月２１日

安楽山宮神社　　白鳥神社　　田之浦山宮神社



赤面（弘化３年の銘）



赤面（文久元年の銘）

赤面

３神社の赤面の上衣と袴

安楽山宮神社，白鳥神社，田之浦山宮神社それぞれの神社に奉納される神舞に古くから用いられていた 12 着の衣装(上衣・袴)と 14 面の仮面が保存されている。仮面には，「弘化３年」(1846 年)，「文久元年」(1861 年）などの銘があるほか，製作者名や寄進者名が彫り込まれたり，墨書されたりしており，それぞれ三社の神舞の継承の古さや有り様を示し，衣装は今では製作できない手織り麻によるもので，貴重な資料である。

山宮系神舞（やまみやけいかんまい）の仮面及び衣装（追加）

【所　在　地】志布志市志布志町安楽１５２０　安楽山宮神社
　　志布志市有明町伊崎田６４２６　白鳥神社
【種　　別】県指定有形民俗文化財
【指定年月日】平成２８年４月１９日

写真１

写真２

写真３

写真４

写真５

写真６

写真７

写真８

写真９

写真 10

写真 11

写真 12

写真１～10：安楽山宮神社，写真 11，12：白鳥神社

今回，安楽山宮神社で仮面 10 面，白鳥神社で仮面２面，計 12 面が新たに発見された。

以前指定された 14 面の仮面には，「弘化３年」（1846 年），「文久元年」（1861 年）などの銘があるほか，製作者名や寄進者名が彫り込まれたり，墨書されたりしているものがあった。新しく発見された仮面にも「享保六年」（1721），「文久元年」（1861 年）など指定されているものと同様もしくはそれよりも古い銘があり，また，仮面の制作技術も同様のものであること，今回見つかったものは破損しており、前回指定の面が今回見つかった物の後継の面であると考えられることから，三社の神舞及び関係を考える上で貴重な文化財だといえる。